

国際協力学 ゲスト講師講演会

限りある資源との向き合い方

-サントリーのサステナビリティ経営から読み解く-

講師

サントリーホールディングス株式会社
サステナビリティ経営推進本部
シニアアドバイザー

北村暢康氏

7月4日(金) 13:20~14:50
共通講義棟2号館102室



※この講演は「国際協力学」の授業の一環ですが、本学の教職員・学生はどなたでも自由に参加できます。

〔概要〕

地球上にある「資源」と呼ばれるものを消費しながら、この人間社会は成立しています。しかしながら資源は有限であり、手を打たなければ、いつかその使用・消費を前提とした社会は立ち行かなくなります。

省エネ、省資源、リサイクル、サーキュラーエコノミー・・・

いま世界は知恵を出し合い、この課題に挑んでいます。

「水と生きる」企業・サントリーのサステナビリティ経営の事例をもとに、この課題を読み解いていきます。



←参加申し込みは
左のQRコードから

後援：お茶の水女子大学SDGs推進研究所

【問合せ先】

文教育学部グローバル文化学環/SDGs推進研究所
荒木 (araki.minako@ocha.ac.jp)

